

2025 年 12 月

日本伝熱学会 東海支部 支部長

近 藤 良 夫 (日本ガイシ)

若手研究会 幹事

川 村 洋 介 (名 城 大 学)

西川原 理仁 (名 古 屋 大 学)

日本伝熱学会東海支部「第 5 回若手研究会」の開催のご案内

拝啓

皆様方におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本伝熱学会東海支部では 2021 年度より、持続的な東海地区の若手伝熱研究者・技術者の交流活性化と地域発展を目指して「若手研究会」を発足いたしました。この「若手研究会」では学会や発表会とは異なり、参加者が自由闊達に議論・勉強を行う場としていきます。これまでの活動については下記リンクよりご覧ください。<https://www.htsj.or.jp/branch/tokai/>

第 5 回のテーマは、「脱炭素に向けた排熱利用技術」とさせていただき、特別講演と株式会社三五様の施設見学を実施させていただきます。終了後に懇親会も予定しております。実施方法については、講演および施設説明については対面とオンライン(Zoom)によるハイブリッド開催、施設見学は対面のみとさせていただきます。

奮ってご参加ください。また、お近くの方々にもご案内いただけますと幸いに存じます。

敬具

<若手研究会発足の趣旨について>

日本伝熱学会東海支部では新たな取り組みとして「若手研究会」を発足することとしました。産業の盛んな東海地区では、多くの業種で技術開発や製造現場における伝熱工学的課題を抱えております。その中で伝熱学会東海支部が果たす役割は、企業の中の若手技術者、大学や研究機関の若手研究者との交流、親交を図り、長期にわたって相談・協力し合える関係性を醸成し、東海地区の伝熱工学に関する学術・技術コミュニティの持続的な発展を目指すことであります。また、伝熱工学単体で成立する技術、製品、あるいは物理現象は少なく、「伝熱工学×○○」という分野融合が今後さらに強く求められています。今後の SDGs、ESG 社会を見据えて、伝熱工学周辺分野あるいは、これまで全く伝熱工学が関係しなかった分野との融合を先導的に図り、新たな技術イノベーションやブレイクスルー、ならびに未来の伝熱学術分野の創出につなげることも視野に入れております。

さらには、伝熱工学は近年ますます重要性を増しておりますが、大学教育科目として広く教えられてきているわけではないのも現状です。新たに伝熱関係の業務に携わる若手技術者の方の学術的サポートを図るという意味合いもあります。

本会は伝熱学会員に限定することなく、また伝熱に関する経験も問わず、さらに地域や年齢も制限せずに、どなたでも気軽に参加できるオープンな体制にしたいと思います。一方で、積極な交流を図るため、単なる講演会ではなく、参加者も顔が見える形で、積極的な意見交換（質問、要望でも構いません）も求めていきたいと思っておりますので、趣旨に賛同いただける方々のご参加をお待ちしております。

記

【日時】 2026 年 3 月 6 日（金） 13:00～16:30

【実施方法】 対面とウェブ(Zoom)によるハイブリッド開催（Zoom は講演のみ）

【対面会場】 株式会社三五 ECO35 （愛知県名古屋市熱田区六野一丁目 3 番 1 号）

アクセス: <https://eco35.jp/Information/index.html>

【参加資格】 伝熱に関係もしくは伝熱に興味のある若手研究者・技術者（超初級～中級者向け）
年齢制限はございませんので、気軽にご参加ください。
※競合他社所属の方は参加頂けない可能性がございますので、その場合は下記問い合わせ先までご連絡ください。

【参加費】 無料（ただし、要事前申し込みとなります。）

【プログラム】

13:00 開会挨拶および若手研究会の紹介

13:10 **【第 1 部】 特別講演**

～14:10 **講演題目「排熱活用と化学蓄熱技術」**

講演者：小林 敬幸

（所属：名古屋大学 大学院工学研究科

化学システム工学専攻 先進化学工学システム 准教授）

概要

化学的に熱を貯蔵し必要な時間・温度や速度で熱を供給する蓄熱・ヒートポンプ技術や、AI データサーバーから大量に排出される 60℃程度の温水を熱源とする熱駆動ヒートポンプの開発状況や要点などを中心に、現在取り組んでいる熱化学技術をご紹介します。

14:10 休憩

～14:30

14:30 **【第 2 部】施設見学＋講演**

～15:30 **株式会社三五 マフラーミュージアム見学**

15:30 休憩

～15:45

15:45 **株式会社三五様 講演**

～16:30 講演題目「自動車の内燃機関の排熱利用・技術開発」

講演者：柴田 敏博，松浦 一成

（所属：電池技術部（柴田），製品・技術開発部（松浦））

概要

自動車の内燃機関の熱をベースとした当社の排熱利用技術・開発の全体像をご紹介します。今回、その中でも、排気ガスの排熱を利用し、エンジンの早期暖気による燃費向上、CO₂排出量削減を実現した排熱回収器(H/C)と電力変換・供給による燃費向上を狙った排熱発電(TEG)システム開発についてご紹介させていただきます。

閉会挨拶

懇親会@近隣にて開催予定

【申込方法】 下記フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/G24QrBskaChXFbNA8>

対面での参加人数は先着順で 40 名とさせていただきます。

【申込〆切】2026年2月7日（金）

【問い合わせ】

川村 洋介

学校法人 名城大学 理工学部 機械工学科

Tel: 052-838-2324

E-mail: ykawamur@meijo-u.ac.jp

以上